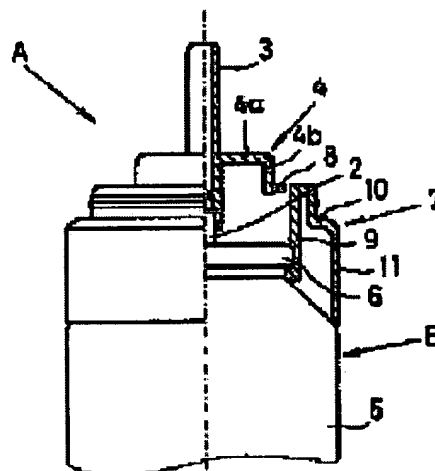


COVER WITH NOZZLE OF AEROSOL CONTAINER

Patent number: JP11278567
Publication date: 1999-10-12
Inventor: MINE HIROMI; KAWAMURA TAKURO
Applicant: YOSHINO KOGYOSHO CO LTD
Classification:
- **International:** B65D83/40; B05B9/04
- **European:**
Application number: JP19980102104 19980330
Priority number(s): JP19980102104 19980330

Abstract of JP11278567

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cover with a nozzle having superior general-purpose properties used for injecting a liquid instantly when the fitted container is held in any directions without inconveniences of shifting the container from one end to the other or the like and applied either to a conventional pressing-down and opening valve type aerosol container or a tilt type container. **SOLUTION:** A cover A with a nozzle is provided with a cylindrical nozzle 3 with a base end opening to be fitted on an injection tube 2 of an aerosol container B and a finger holding section 4 with a suspended wall 4b extended downward from the outer peripheral edge of a flange-shaped top wall 4a protruded from the outer periphery of the nozzle 3 and a plurality of elastic plates 8 of special structure for connecting a shoulder cover 7 to be fitted on the outer peripheral upper section of the container B with the outer face lower section of the suspended wall 4b installed in the peripheral direction. Either the operation of pressing-down the injection tube 2 downward or the operation of inverting the tube sideways can be carried out not forcibly by the provision of the elastic plate 8 of special structure and the finger holding section 4.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-278567

(43) 公開日 平成11年(1999)10月12日

(51) Int.Cl.⁹

識別記号

F I

B 6 5 D 83/40

B 6 5 D 83/14

E

B 0 5 B 9/04

B 0 5 B 9/04

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平10-102104

(22) 出願日

平成10年(1998)3月30日

(71) 出願人 000006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(72) 発明者 峯 博美

大阪府茨木市宇野辺1-6-9 株式会社
吉野工業所大阪工場内

(72) 発明者 川村 卓郎

大阪府茨木市宇野辺1-6-9 株式会社
吉野工業所大阪工場内

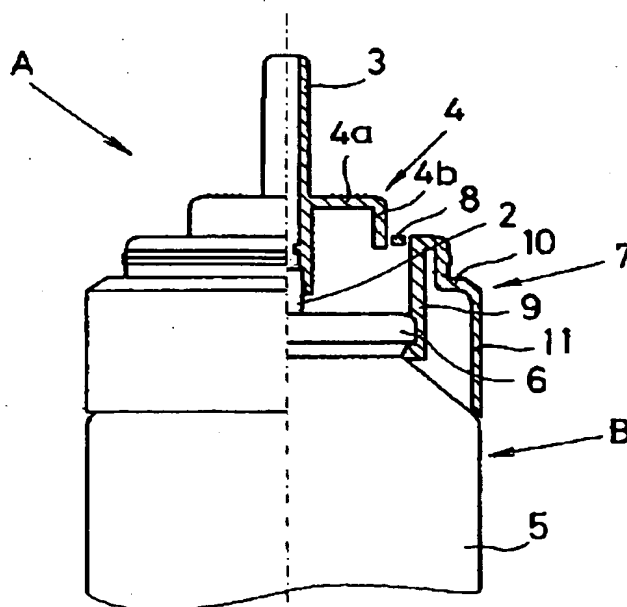
(74) 代理人 弁理士 今岡 良夫

(54) 【発明の名称】 エアゾール容器のノズル付きカバー

(57) 【要約】

【課題】装着した容器をどの方向から持っても即座に液の注出が行えて容器を持ち替える等の不便がなく、また、押し下げ開弁式の一般的なエアゾール容器と、ティルトタイプの容器のいずれにも応用できて汎用性に優れたノズル付きカバーを提案するものである。

【解決手段】エアゾール容器Bの注出管2に基端開口を嵌合させる筒状ノズル3を有し、ノズル外周より突設したフランジ状頂壁4a外周縁より垂壁4bを下方へ延設してなる指掛け部4を備え、また、容器B外周上部に嵌合させる肩カバー7内周面と垂壁4b外面下部とを連結する特殊構成の弾性板8を周方向複数架設して構成した。そして、この特殊構成の弾性板8と指掛け部4の存在で、注出管2の下方への押し下げ或いは側方への傾倒のいずれも無理なく行える如く構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】エアゾール容器B上面中央より突設した注出管2に基端開口を嵌合させる筒状ノズル3を有し、該ノズル外周より突設したフランジ状頂壁4a外周縁より垂壁4bを下方へ延設してなる指掛け部4を備え、エアゾール容器B外周上端に嵌合させる肩カバー7内周面より、中心へ向かって突設した後周方向へ円弧状に延び、再び中心へ向かって延びて垂壁4b外面下部に他端を連結した弾性板8を周方向複数架設してなり、全体を合成樹脂により一体に形成したエアゾール容器のノズル付きカバー。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明はエアゾール容器のノズル付きカバーに関する。

【0002】

【従来の技術】エアゾール容器のノズル付きカバーとして、例えば、図4に示す如く、エアゾール容器Bの外周上端に嵌合させた周壁50上端縁よりフランジ状の頂板51を延設した装着筒52と、頂板51の前部内側縁に薄肉ヒンジ53を介して前部を揺動可能に連結した揺動板54を貫通し、下端を容器の注出筒（図示せず）に嵌合させたノズル55を上方へ起立させ、また、ノズル後部に押し釦56を形成したものが一般に知られている。

【0003】このようなカバーを装着するエアゾール容器は、注出管を下方へ押し下げることにより開弁し、内蔵噴出機構の作用で注出管先端より液を噴出する一般的なタイプのものである。

【0004】また、図5に示す如く、注出管の上部外面に下部内面を嵌合させるノズル100を、弾性変形可能な頂壁101 中心部から起立するとともに、エアゾール容器の外面上端部に嵌合させる周壁102 を頂壁101 外周縁から垂設させたノズル付きカバーも知られている。

【0005】このようなカバーを装着するエアゾール容器は、注出管を傾倒させることにより開弁し、内蔵噴出機構の作用で注出管先端より液を噴出する、所謂ティルトタイプと呼ばれるものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記カバーのうち前者は、押し釦の存在する後部のみノズルの押し下げができ、従って、押し釦のない前方より容器を持った場合には、液の注出が困難であった。また、ティルトタイプのエアゾール容器には使用できない。

【0007】また、後者のものは、容器をどの方向から持った場合にも液の注出が可能ではあるが、この場合も押し下げ開弁式の容器には応用がきかない。

【0008】本発明はこの様な点を考慮して、装着したエアゾール容器をどの方向から持っても即座に液の注出が行え、容器を持ち替える等の不便がなく、また、注出管を押し下げて液の注出を行う押し下げ開弁式の一般的

なエアゾール容器と、注出管を傾けて液の注出を行うティルトタイプのエアゾール容器のいずれにも応用できて極めて汎用性に優れ、しかも、全体を合成樹脂の一体成形により形成できるため製造が容易で安価に得られるという利点を兼ね備えたカバーを提案するものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本請求項1 発明のカバーは上記課題を解決するため、エアゾール容器B上面中央より突設した注出管2に基端開口を嵌合させる筒状ノズル3を有し、該ノズル外周より突設したフランジ状頂壁4a外周縁より垂壁4bを下方へ延設してなる指掛け部4を備え、エアゾール容器B外周上端に嵌合させる肩カバー7内周面より、中心へ向かって突設した後周方向へ円弧状に延び、再び中心へ向かって延びて垂壁4b外面下部に他端を連結した弾性板8を周方向複数架設してなり、全体を合成樹脂により一体に形成した。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例の形態を図面を参照して説明する。本発明のノズル付きカバーAは、合成樹脂により一体に形成されたもので、エアゾール容器B上面中央より突設した注出管2に基端開口を嵌合させる筒状ノズル3を有し、該ノズル外周より突設したフランジ状頂壁4a外周縁より垂壁4bを下方へ延設してなる指掛け部4を備えている。

【0011】本発明カバーAを装着することができるエアゾール容器Bは、胴部上面中央より突設した注出管2を押し下げることにより開弁し、内蔵噴出機構の作用で収納液が注出管上端開口より噴出する如く構成した公知機構の押し下げ開弁式のもの、或いは、胴部上面中央より突設した注出管2を側方へ傾倒させることにより開弁し、内蔵噴出機構の作用で収納液が注出管2上端開口より噴出する如く構成した公知機構のティルトタイプのものが挙げられる。

【0012】図示例の容器Bは、筒状胴部5の上端部をテーパ状に縮径し、その上端縁に平面視円形をなす突条6を上方及び外方へ突出させて立設するという外観を備え、図1に示すものは、押し下げ開弁式で、図3に示すものはティルトタイプのものである。

【0013】指掛け部4は、注出管2を押し下げ或いは傾倒させるためのものであり、押し下げ開弁式のエアゾール容器B専用を使用する場合には、図1に示す如くその垂壁4bの縦幅を短く構成して、頂壁4a上面のみを押し下げられる如く形成しても良いが、押し下げ開弁式とティルトタイプとに兼用させる場合、或いはティルトタイプ専用を使用する場合には、図3に示す如く、その外周面を内方に向かって押し込める如く上下方向幅広の垂壁4b1 とすると良い。

【0014】図1に示す実施例では、ノズル3外面の上下方向中央部より外方に一体に突設したフランジ状頂壁4aの周縁部より短円筒状の垂壁4bを垂設して指掛け部4

を構成しており、頂壁4a上面には滑り止め用の環状凹凸部が設けられている。また、図3に示す実施例では、ノズル3外面上部より外方に一体に突設したフランジ状頂壁4aの周縁部より、縦長で、指先端で押すのに十分な縦幅を有する垂壁4b1を垂設して構成している。

【0015】この指掛け部4の存在により、容器をどの方向から持った場合でも、その頂壁4a上面を押し下げることにより、或いは垂壁4b1外周面を押し込むことにより収納液の噴出を行える如く構成している。

【0016】また、本発明のノズル付きカバーAは、エアゾール容器B外周上端に嵌合させた肩カバー7内周面より、中心に向かって突設した後周方向へ円弧状に延び、再び中心へ向かって延びて指掛け部4の垂壁4b、4b1外面下部に他端を連結した弾性板8を周方向複数架設している。

【0017】肩カバー7は、エアゾール容器Bの外周上部或いは外周上部から上面周縁部に亘り被覆して嵌合させるもので、図示例では、環状突条6の外周に内周下端を凹凸係合手段を介して上方への抜け出しを困難に嵌合した内周壁9上端縁より外方へ、ドーナツ板状で、内外方向中央部に於いて段部を設けた頂壁10を延設し、該頂壁10外周縁より下方へ外周壁11を垂設して構成している。上記段部により形成される頂壁の垂壁部分外周に、図示しないキャップの周壁を着脱自在に嵌合させる如く構成している。

【0018】また、弾性板8は、その数を周方向二箇所設けても或いは三箇所以上設けても良く、エアゾール容器の大きさ等を考慮して適宜選択すれば良い。このような弾性板8を設けることにより、全体を合成樹脂の一体成形で形成できるにも係わらず、指掛け部4の頂壁4a上面のどの位置で押し下げても、注出管2は略真下に押し下げられ、上下方向幅広の垂壁4b1の場合には、垂壁4b1を、その外周面のどの位置で内方へ押し込んでも注出管2を傾倒させることが出来る如く構成している。

【0019】

【発明の効果】以上説明した如く本発明ノズル付きカバ

ーは、エアゾール容器B上面中央より突設した注出管2に基端開口を嵌合させる筒状ノズル3を有し、該ノズル外周より突設したフランジ状頂壁4a外周縁より垂壁4bを下方へ延設してなる指掛け部4を備え、エアゾール容器B外周上端に嵌合させる肩カバー7内周面より、中心へ向かって突設した後周方向へ円弧状に延び、再び中心へ向かって延びて垂壁4b外面下部に他端を連結した弾性板8を周方向複数架設してなり、全体を合成樹脂により一体に形成したので、押し下げ開弁式のエアゾール容器に装着した場合に、容器をどの方向から持った場合でも、容器を持ち替える等の不便もなく、即座に液の注出を行えるものである。

【0020】また、垂壁を上下方向幅広に形成した垂壁4b1とすれば、押し下げ開弁式のエアゾール容器のみならず、ティルトタイプのエアゾール容器にも応用でき、極めて汎用性に富む利点を兼ね備えており、ティルトタイプの容器に応用した場合も容器の持ち替えなしに即座に液の注出を行える。

【0021】また、容器の肩部を被覆して使用者の指等の保護をする肩カバーを、液噴出機能の低下を生ずることなく一体に形成できるので、別々に容器に装着する場合と比較して、取り付け工程が簡略される利点も兼ね備えている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す半断面図である。

【図2】同実施例の平面図である。

【図3】本発明の他の実施例を示す半断面図である。

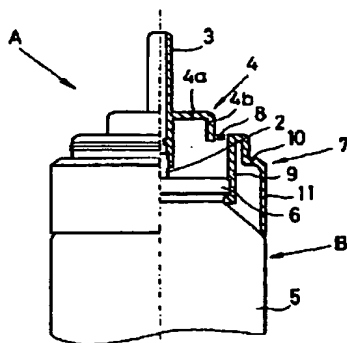
【図4】従来のノズル付きカバーの一例を示す斜視図である。

【図5】従来のノズル付きカバーの他の一例を示す縦断面図である。

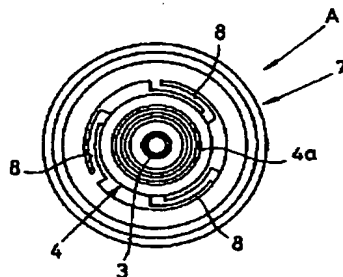
【符号の説明】

2…注出管、3…筒状ノズル、4a…頂壁、4b、4b1…垂壁、4…指掛け部、7…肩カバー、8…弾性板、B…エアゾール容器

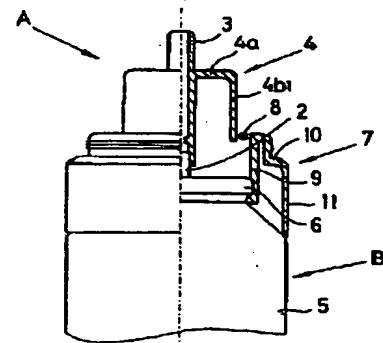
【図1】



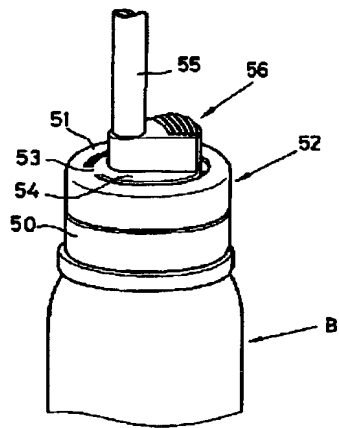
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

